

带状疱疹ワクチン 接種はすみましたか？ 今が接種の最後のチャンスかも

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



皆さん接種しましたか？ 带状疱疹ワクチン

带状疱疹ワクチンについては、これまでも何度かお知らせしてきました。日野町では2022年4月からワクチン接種に助成金(3/4補助)を出しており、もうすぐ3年になります。皆さんは接種をお済みでしょうか？

さらに、今年4月からは国の助成制度も始まる予定です。世界では、G7(先進7カ国)のうち6カ国が带状疱疹ワクチン接種を推奨し、そのうち5カ国ではすでに国の助成制度が整っています。日本もようやくその流れに追いつきますが、喜ぶ

のはまだ早いです。実は国の制度内容は、日野町の現行制度よりもかなり後退したものになりそうです。

例えば、国の助成制度では65歳以上で「5歳刻み」の年齢(65歳、70歳、75歳…)の一方だけが対象となり、該当する年齢を逃すと次のチャンスまで4年待たなければなりません。また、50歳から64歳の方は65歳になるまで助成を受けられません。さらに、助成額もまだ確定しておらず(2024年12月現在)、私の予測では現在の制度より良くなる可能性はないと考えています。

日野町が現行の助成制度を国の制度に合わせるかどうかはまだ分かりません。できる限り現状維持をお願いしていますが、どうなるかは不透明です。そのため、2025年3月末までに1回目の接種を済ませることを強くお勧めします。

先延ばしにせず 早めのワクチン接種を

带状疱疹はいつ発症す

るか分かりません。接種を先延ばしにするのは危険です。国は一度に多くの人が接種すると予算が足りなくなることを懸念しているのかもしれないが、これまで助成制度を導入している自治体の実績を見ると、その心配は杞憂のように思います。

例えば、日野町では初年度の接種者が50歳以上の人口の約4%、最も多かった江府町でも約13%と、そこまで多くはありませんでした。带状疱疹ワクチンを早めに接種することで、将来的には医療費を抑えられることが多くの研究で示されています。一人

でも多くの方が早急に接種することで、社会全体の負担を減らすことにもつながります。

住民の皆さんには、ぜひ助成制度が変更される前にワクチンを接種していただきたいと思います。「転ばぬ先の杖」「後悔先に立たず」という言葉があるように、行動を先延ばしにして良い結果になることはありません。2025年3月末までに接種を済ませるようにしましょう。今なら1回5千円、2回1万円で接種できます。時間は限られています。どうか早めの行動をお願いいたします。

